

平成27年度 美馬市医師会在宅医療連携拠点事業 地域住民への普及啓発「美馬市医師会出前講座」

美馬市医師会 多職種連携会議
住民啓発検討会

今年度の重点目標として、地域住民への普及啓発をとりあげ、医師及び関係者による「出前講座」を試みた。

I. 目的

地域住民に、在宅医療を正しく理解してもらい、必要なときに在宅医療・介護サービスを適切に選択していただけるよう、情報提供や意見交換を行なう機会を設ける。在宅医療や介護を意識していない地域住民と在宅医療関係者との距離を縮めることで、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解を促進させる。

II. 出前講座実施内容

(1) 対象者

対象者の選定にあたっては、多職種連携会議の委員である美馬市、つるぎ町の担当課及び地域包括支援センター、社会福祉協議会の方に依頼した。在宅医療連携拠点事業として、初めての試みではあったが、民生児童委員、介護予防いきいきサポーター養成講座等地域のリーダーである方を対象に実施した。老人会、婦人会、いきいきサロン等への実施も検討したが日程上調整できず次年度に検討することとした。

(2) 実施者

医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員 の4職種のチームとして実施

(3) 実施内容

演題「よくわかる在宅医療と介護」

- ① 在宅医療の推進について～地域性や今後の課題～
- ② 在宅医療と介護について～住み慣れた地域で暮らしていくために～
- ③ 歯と口のトラブルとさまざまな影響について
- ④ 薬剤師の訪問サービスやサポートについて
- ⑤ 介護保険の利用について

講義時間

1時間30分

配付資料

- ① 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団発行「暮らしの健康手帳」
- ② 東京法規出版「よくわかる在宅医療&介護」
- ③ リーフレット「在宅医療と介護に関する相談窓口」(美馬市医師会)
- ④ リーフレット「歯医者さんが家にやってくる」(徳島県歯科医師会在宅歯科医療連携室)
- ⑤ 御質問・御意見用紙

実施手順

「出前講座依頼書」及び「結果報告書」を活用して、出前講座依頼者と美馬市医師会で手順に沿って実施する。

(4) 日程及び講師

実施日	時間	対象者	場所	人数	講師名			
					医師	歯科医師	薬剤師	ケアマネ
11月16日(月)	13:30 ～15:00	美馬市民生委員 児童委員協議会定例会 穴吹地区	美馬市役所(穴吹)	28	林真見子	尾方保夫	松尾景子	中川和美
11月24日(火)	13:30 ～15:00	美馬市民生委員 児童委員協議会定例会 脇町地区	脇町福祉センター	53	藤野晴彦	尾方保夫	松尾景子	中川和美
11月26日(木)	13:30 ～15:10	つるぎ町介護予防いき いきサポーター及び 近隣介護支援専門員	つるぎ町 就業センター	110 (ケアマネ22名)	谷口博美 永尾 仁	笠原信治	松尾景子	大浦百合子
平成28年 1月12日(火)	14:30 ～16:00	美馬市民生委員 児童委員協議会定例会 美馬地区	曾我部	24	木下雅俊	笠原信治	松尾景子	中川和美

(5) 講義内容……会場により若干の変更がある

テーマ

「よくわかる在宅医療と介護」

地域の実情や皆様にとって必要な医療や介護のサポート方法をお伝えします。

医師会事務局

- ・美馬市医師会出前講座の趣旨、資料説明
- ・講師紹介

医師……テキスト「よくわかる在宅医療＆介護」を示しながら

- ・美馬市医師会在宅医療拠点事業の目的は「在宅医療の推進」
- ・「在宅」ってどこのこと
- ・2025年の地域包括ケアシステムの姿
- ・2025年の美馬市・つるぎ町の状況(人口構成、若年女性半減、医師の高齢化)
- ・在宅医療とは、往診と訪問診療の違いとは
- ・在宅医療はチームでささえる
- ・在宅医療を選ぶにあたって、在宅で受けられる医療・在宅で受けられる看護
- ・認知症ケアの重要性が高まっている、認知症に対する理解を深めよう
- ・急変したときの備え(救急車を呼ぶ時)
- ・穏やかな最後への備え

歯科医師……「お口の健康アップ大作戦」

- ・高齢者の特徴
- ・歯と口のトラブルは
- ・口腔の役割、食べることの意義、噛むことの8大効用
- ・歯と口の健康は全身の健康に関わり、生活の質を左右する
- ・老化による誤嚥
- ・自分ができる、家族ができる口腔ケア(食物残渣、歯垢・歯石、舌苔、義歯の汚れ)
- ・リーフレット「歯医者さんが家にやってくる」の説明

薬剤師……「在宅医療・介護における薬剤師の役割について」

- ・薬のことで困ったときは？薬剤師の訪問により薬の管理や疑問点についてサポートやアドバイスを受けることができる
- ・薬の説明、残薬の整理、服薬支援
- ・飲み込みが悪くなったときは
- ・薬を薬局までとりに行くことができない→お薬をお届けします(医師の指示が必要)
- ・薬剤師は、自宅や入所先を訪問した時、生活の状況を見させていただくことにより、薬の効き目や副作用がでないか見逃さない

介護支援専門員・・・「介護保険の利用の流れと医療と介護の連携について」

・ケアマネジャーの仕事は

- ・在宅で介護が必要になり通院が困難になった時、医療サービスが受けられるよう支援
- ・入院が必要になった場合、在宅での本人の状態や家族の連絡先の情報提供
- ・退院できるようになれば、退院後も切れ目なくサービスが利用できるよう調整する
- ・退院後、施設入所する場合は、関係者と連携してよりよい方法を相談する
- ・介護が必要な場合の流れ
- ・介護保険を利用するには、利用の仕方

(6)受講者の反応

質問

- ① 終末期に、救急車を呼ぶ時と、救急車を呼ばなくてもよい時の違いは
- ② 1ヶ月ぐらいで退院するように言われるのは法律で定められているんですか
- ③ 認知症になっても治る場合もあるのですね。身近な人が治った。

感想(文)

ご質問・ご意見用紙	
大変勉強になりました。各先生方には とてもわかりやすく、具体的に講演して下さいありがとうございました。 在宅生活においては、大勢の僕が大切であると思 認知症についても地域を巻き込むことが大切だと思います。 地域の力を上げることで、 在宅生活を安心して暮らすことができると思	
所 属 ()	お名前 ()
当日時間がない場合は、後日回答いたします。 お帰りの際ご提出ください。	

Ⅲ.講師(実施者)の感想及び意見(別紙)、出前講座の場面(別紙)

Ⅳ まとめ

今年度の重点目標である「美馬市医師会出前講座」を実施した。美馬市とつるぎ町の協力を得て、地域住民のリーダーを対象に4職種チームで地域住民の在宅医療・介護連携の理解をしていただくため地域へ出向いた。事務局の準備不足や業務の合間で時間を割く等、講師は戸惑いながら講演に臨んでいただいた。後日、講師は、感想を求めたアンケートに対して、大変だったが住民の身近な反応に「満足感」があったと記載している。また、地域住民のリーダーは、日頃はかかりつけ医や担当でお世話になっている講師の「こういう話」を聴く機会がなく、身近な存在として写ったようで好評であった。

今後も、市と町、さらに関係機関・関係団体による既存の集会等を確認し、積極的に出前講座を実施したい。地域住民に対して在宅医療や介護で受けられるサービス内容や利用方法等にわかりやすく解説するなど新たな普及啓発方法の工夫も検討していきたい。また、この機会を通じて、地域住民の在宅医療や介護への質疑や考えを聞きたいと考えている。